

樋野興夫

順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授
一般社団法人がん哲学外来理事長
「越冬隊友の会」顧問

「訪れる人を温かく迎い入れる」～「越冬隊友の会」の基本理念～

昨年末、新刊『楕円形のころろ ～ がん哲学エッセンス ～』（春秋社）から出版される、運びとなった。丁度、「がん哲学外来」10周年記念でもあった。『真理は円形にあらず、楕円形である。一個の中心の周囲に描かるべきものにあらずして、二個の中心の周囲に描かるべきものである。一人は何事によらず円満と称して円形を要求するが、天然は人の要求に忝ぜずして楕円形を採るはふしぎである。哲学も科学と同じく思索的（スペキュレチーブ）であってはならぬ。叙述的（デスクリプチーブ）であらねばならぬ。一患難の坩堝（るつぼ）の内に燃え尽くす火に鍛えられて初めて実得し得るものである。』（内村鑑三著『聖書之研究』より）。まさに、「越冬隊友の会」の基本理念である。

すべての始まりは「人材」である。行動への意識の根源と原動力をもち、「走るべき行程」と「見据える勇氣」、そして、「最も必要なことは、常に志を忘れないよう心にかけて記憶することである」（新渡戸稲造）。「責務を希望の後に廻さない、愛の生みたる不屈の気性」が、「人生の扇の要」の如く甦る。『生活環境や言葉が違っても心が通えば友達であり、心が通じ合う人と出会うことが人間の一番の楽しみである。』（新渡戸稲造）を体験する日々でもある。『互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。』（ピルピ人への手紙 第2章3, 4節）が「越冬隊友の会」の目的でもある。

筆者が、倫理委員を務める新渡戸記念中野総合病院のニュースレター（2019年2月1日号）に副院長 山根道雄先生の{新渡戸稲造『一日一言』二月五日付}の記述があった。『面の忿 {いかり} をたち、心の瞋 {いかり} をやめて人のたがはんを瞋 {いかる} ことなかれ、人みな各心に執する事あり。我が是は人の非。人の是は我が非、我もかならず聖にあらず。彼もかならずしも凡にあらず、共にこれ凡夫なり。是非の理たれか 是れを定めん。』（聖徳太子の「十七条の憲法」の引用）。大いに感激した。新渡戸稲造の『一日一言』は大正4年1月（53歳）に実業之日本社より出版され、その年に24版、大正15年には84版を重ね、大正時代のベストセラー・ロングセラーとなったとのことである。驚きである。

勝海舟の屋敷があった赤坂で、講演『勝海舟の胆力 ～ がん哲学外来の心得 ～』する機会が与えられた。母を亡くして悩んでいるクララに対して、勝海舟の奥さん（たみ）の言葉『悲しい時には 私達の所へいらっしやい、一緒に泣きましょう、そしてあなたが 仕合せな時には 一緒に笑いましょう。さあ勇氣をお出しなさい、—これから先の長い年月のことは考えず、今日という日以外には 日がないと思って ただ毎日をお過ごしなさい』は、まさに、「訪れる人を温かく迎い入れる」見本である。「あなたがたを 耐えることのできないような 試練に合わせるようなことは なさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。」（コリント10章13節）。ここに「越冬隊友の会」の原点があろう。

秋山隊長へ シャチホコ記念カフェ 彦田かな子

平成最後の年が明けました。今年は、大きく日本が変化する一年になります。年賀状が、旦那様と hanna ちゃんから届きました。2人(hanna ちゃんも一人とカウントしますね！)とも穏やかな日々を過ごされているそうです。

最近の私は、毎月の「シャチホコ記念カフェ」の開催と「どあらっカフェ」の運営サポート、「がん」や「在宅診療」に関する勉強会への参加など今もドタバタと暮らしています。もちろん、秋山隊長と一緒に参加した「越冬隊友の会シンポジウム」の開催地、ラジオ日経にもたまにお邪魔しています。

時代が大きく変わろうとするときも、私は自分の役割と使命をしっかりと見極めて、秋山隊長の「私はここにいます！」の言葉を胸に、ドタバタしながらも地に足を付けた活動を継続していこうと思っています。憧れの秋山隊長のようにオシャレで知的な女性になれるようにと願いながら。

「越冬隊友の会」連絡先：副会長 大弥佳寿子
TEL042-395-2140 kzoya@aa.bb-east.ne.jp
後援：一般社団法人がん哲学外来 <http://www.gantetsugaku.org/>

映画「**がんと生きる言葉の処方箋**」の上映決定！
5月3日～9日 「新宿武蔵野館」にてロードショー上映
詳しくは「がんと生きる言葉の処方箋」公式サイトをご覧ください。
<https://kotobanosyohousen.wixsite.com/website>



〈編集後記〉

寒暖差の激しい時季ですが、梅の開花も伝えられ春はそこまで来ています。

自分以外の誰かを想って「訪れる人を温かく迎い入れる」、越冬隊友の会であり続けたいものです。

映画の上映も決まり、また「良き出会い」を楽しみにしています。

(大弥佳寿子)